

# 平成25年度 胎内市音楽部 活動報告

部長 松本 圭

## 1 研究主題

音楽の専門的な知識や技術、指導力の向上を目指して～楽しい音楽活動の工夫～

## 2 研究の概要

(1) 第1回部会 「活動計画立案」 会場 中条小学校 15:30～ 参加者10人

(2) 第2回部会 「和楽器研修会」 会場 乙中学校 9:00～ 参加者 8人

①研修 「箏の歴史と奏法」

②講師 八木 松峯 (山田流師範、新潟県方角連盟副会長)

③概略

- ・ 箏のつくり ・ 箏の歴史
- ・ 生田流と山田流の違い ・ 平調子について
- ・ 実技「さくら」
- ・ 模範演奏「さくら」「古今和歌集より」



(3) 第3回部会 「電子楽器講習会」 会場 きのと小学校 15:00～ 参加者10人

①研修「音楽授業における電子楽器の生かし方」

②講師 松本 憲一 (ローランド株式会社教育機器事業部担当課長)

③概略

- ・ たくさんの最新電子楽器を実際に目の前にして研修することができた。
- ・ 録音機器の性能が上がっており、持ち運び可能で簡単な操作で良質の音が録音できる機器を紹介された。演奏直後に目の前で自分たちの演奏を聴くことができ、ねらいに合った演奏ができているかの検討を効果的に行うことができる。また、細かな音まで正確に録音されるので、児童生徒の耳も鍛えられ、さらにより演奏を目指す姿が期待できる。
- ・ 既存のCDのテンポや調を簡単に変えて再生することができる機器を効果的に使うことにより、個やグループの実態に応じた演奏練習が可能になることも研修した。
- ・ これらの電子機器はUSBメモリ等に簡単に保存ができ、工夫次第で多くの活動に生かしていくことができることが分かった。
- ・ 電子パーカッション、ギタータイプの立奏用キーボードなども紹介され実際に演奏してみることができた。学校音楽祭で実際に演奏している映像を見せてもらい、合奏における電子楽器の生かし方も研修することができた。



## 4 成果と課題

(1) 成果

- ・ 講師の八木先生とお二人の弟子の方から、実技を習ったり、演奏を聴いたりすることのできる貴重な機会となった。普段、耳にすることの少ない和楽器の世界にたっぷりと浸ることができた。小・中学校の和楽器の学習内容について確認し合うことができるよい機会となった。
- ・ 最新の電子楽器に触れ、音楽の授業における効果的な活用方法について研修することができた。

(2) 課題

- ・ 小中学校の両方のニーズに対応した研修内容の充実を図る。
- ・ 各校における和楽器、電子楽器などの整備、補充をすすめる方法を検討する。